



共育 協創

長井市立豊田小学校
学校だより



令和7年10月10日 No.12



競い合い 励まし合い たたえあう -豊田小 大運動会-

10月4日(土)、見事な秋晴れ。まさに、運動会日和。子どもたちが頑張る舞台は整いました。

この日を迎えるまで、子どもたちはそれぞれの組のために、応援練習や徒競走、学年部種目と毎日練習をしてきました。グラウンドから聞こえる友達を励ます声や歓声。応援練習では難しいふりも覚えて何度も練習しました。「**本気・全力を出し切り、一人ひとりが輝く運動会にしよう**」のスローガンに向かって、準備は万端です。

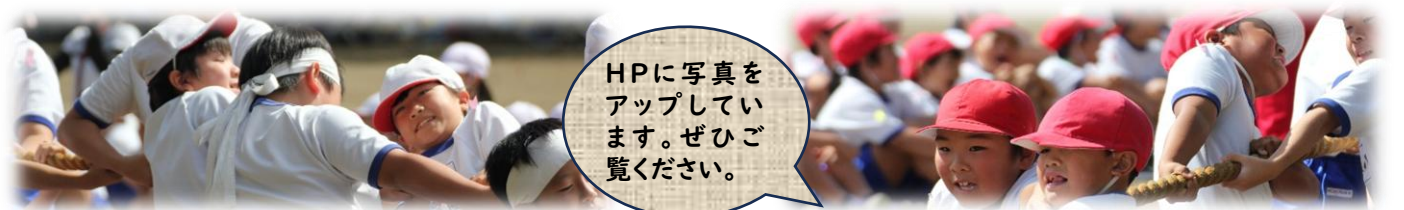
今年は、米沢養護学校長井校の友達も徒競走を一緒に走りました。頑張る姿はお互いを励ますものです。豊田小も長井校も全員が力いっぱい走り切りました。本部前の表彰では、自分の順位に満足している子や逆にがっかりして泣いてしまう子、1位になった友達に拍手を送る子、ご来賓の方々に「おめでとう」と声をかけていただき、「ありがとうございます」と笑顔で答える子。子どもたちの表情はさまざまでしたが、それだけ頑張ったということでしょう。赤、緑、黄色、ピンクのすべての色のリボンが輝いていました。

学年部種目は、学年のチームワークの発揮しどころです。どの種目にも「本気・全力」です！誰一人、力を抜いている人はいません。こういう豊田っ子の姿は、本当に私たちの胸を打ちます。応援合戦では、力の限りの声を出し、両組とも工夫をこらした応援を披露しました。甲乙つけがたい、「どっちも勝ち!」と思えるほどの素晴らしい応援でした。1年生もふりを覚え、堂々と参加している姿に頼もしさを感じました。子どもたちの、天に届くほどの大きな声がグラウンドいっぱいに響き渡りました。子どもたちはもちろん、見守る教職員も「心ひとつ」になった時間でした。

今年は、優勝 白組。準優勝 赤組。応援賞 白組。応援賞は、わずか1点差でした。勝って喜ぶ姿も、負けて悔しい姿もどちらも清々しくさわやかでした。正々堂々戦ったからこそ、お互いをたたえ合えるのです。勝ち負けを超えて、頑張る姿に勇気をもらいました。閉会式での言葉をもう一度。

「素晴らしい運動会を作ってくれてありがとう。」「ますますみんなのことが大好きになりました!」

最後になりましたが、早朝より PTA 役員の皆様にはご協力をいただきありがとうございました。また、学校運営協議会の委員の皆様、河井の里の皆様にも足を運んでいただき、子どもたちに大きな拍手を送っていただきました。保護者の皆様にも、始めから終わりまで温かい拍手を送っていただき、子どもたちの大きな力になりました。どうもありがとうございました。



HPに写真をアップしています。ぜひご覧ください。

全国学力・学習状況調査の結果について お知らせ

今年度、6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について結果をお知らせします。今後も一層、子どもたちにとって「わかる授業」「価値のある授業」「自分で考え、自分で決める授業」を展開できるよう、指導力向上に努めてまいります。なお、6年生には1学期末に個人の結果をお渡ししています。

【学力調査について】各教科の結果(正答率)から以下のような成果(◎)が見られました。

<国語>◎複数の資料からわかったことや考えたことをまとめる力がついてきています。

◎漢字の書き取りは、全国平均を上回ったものもあります。

<算数>◎分数の計算は、通分をして正確に計算できることがわかりました。

<理科>◎水のしみこみ方や電気の仕組みについての基本的な知識を理解できています。

【学習状況調査について】

<肯定的な評価の割合が高かった項目>

質問事項
学校に行くのは楽しいと思う
人の役にたつ人間になりたいと思っている
ICTを活用することで、友達の考えを共有したり比べたりできる
各教科の学習は社会にでてから役に立つと思う

<肯定的な評価の割合が低かった項目>

質問事項
自分でICT機器を使って、学校のプレゼンテーションを作成することができる
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだ
普段の生活のなかで、幸せな気持ちになることがよくある
毎日同じ時間に寝ている

【課題を踏まえた今後の取り組み】

<学習面>

○発達段階に応じた量の文章を理解して読めるようになるには、一定程度の文章を読むことに慣れることも必要だと考えます。読書を通して、楽しみながら文章に触れる機会を今後も大事にしていきたいと思います。

○正しく理解するためには、読み飛ばしをしないで読むことが大事です。授業では、教科書を読む(文章はもちろん、表やグラフも)力をつけるため、各教科で音読を取り入れ、声に出して正しく読むことを繰り返し指導していきます。

○友達と考えを聞き合うことで、より自分の考えが深まったり間違いを修正したりできるよう、授業はもちろん、朝の会でも聞く・話す場面を日常的に取り入れていきます。

○授業中、タブレットを使う場面も増えてきました。さらに、総合的な学習の時間等で表やグラフ、絵や写真などを取り入れたまとめや表現ができるよう、各学年の段階に応じて指導していきます。

<生活面>

○生活リズムを整えることは、体の成長だけでなく心や脳の成長に欠かせません。今後もリズムを整えた生活ができるよう、ご家庭と協力しながら呼びかけていきます。

○家庭学習の習慣(学年×10分)が身につくよう、宿題の量や質、方法について検討してまいります。

○「わかった!」「できた!」という経験をし、一人ひとりのよさを自覚できるよう、教育活動全体を通して指導・支援してまいります。

保護者面談について、都合をつけてくださりありがとうございます。面談では前期の通知表をお渡ししています。心配なことや気がかりなことがあれば、いつでも学校にご相談ください。